

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7期第4回相模原市緑区区民会議		
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802 (直通)		
開催日時		令和5年5月15日(月) 午後3時～午後5時		
開催場所		緑区合同庁舎4階集団指導室		
出席者	委員	20人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	17人(区長、副区長、区政策課長、他14人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 新しい委員の紹介 3 前回の振り返り 4 今後の進め方について 5 議 題 (1) 区内視察の実施について (2) グループワーク(区の一体感づくりに向けた取組の共有) 各グループの成果発表 6 その他 7 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は会長の発言 ○は委員の発言 ●は事務局の発言）

1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開の確認を行った。また、傍聴希望者の報告を行った。

2 新しい委員の紹介

緑区役所区政策課長の進行により、新任委員の紹介及び新任の職員紹介を行った。

3 前回の振り返り

事務局から、第3回緑区区民会議でのグループワーク内容の説明を行った。

4 今後の進め方について

事務局から、今後の進め方について説明を行った。

5 議題

牧瀬会長の進行により、議事が進められた。

(1) 区内視察の実施について

事務局から資料に基づき説明を行い、視察候補地について各グループで検討した。

<各班の主な意見>

【A班】（発表者：村上委員）

○各地区の見どころがわかるような場所を視察したい。藤野地区の農家、芸術の道、相模湖地区の昔のゲームセンター、城山ダム、小原宿本陣が視察候補地として挙げられた。

【B班】（発表者：武井委員）

○道志川沿いのキャンプ場、吉野宿ふじや、上大島キャンプ場、清流の里、古民家、相模ダム、津久井湖城山公園、青根いやしの湯、相模原北公園、リニア工場の現場等が視察候補地として挙げられた。

【C班】（発表者：河津委員）

○津久井・藤野・相模湖地区を中心に回ってはどうか。

リニアの工事現場、古民家、芸術の道、景信山（鬼滅の刃の関連地）、旧青根中学校、森・モノづくり研究所の見学、スタジオフジノ、里山体験ツアー等が視察候補地として挙げられた。

◎各班の意見を踏まえて、事務局は行程表の作成をお願いしたい。リニアの工事現場については、中に入っての見学もできると良いと思われる。

雨天、台風等の影響が出る場合があると思うが、その際はどうか。

●雨天決行の予定だが、台風等の荒天により実施が困難になった場合は中止の可能性もある。行程表の決定連絡に合わせて中止時の連絡方法についても、別途ご案内する。

(2) グループワーク（区の一体感づくりに向けた取組の共有）

事務局から、資料に基づき市内の事例紹介を行い、区の一体感づくりに向けた取組事例等の共有・意見交換を行った。

<各班の主な意見>

【A班】（発表者：村上委員）

○地域で一体感があると感じる取組として、地域ごとのお祭りや自治会活動、防災活動、地域活動団体の取組などの意見があった。

○一体感がないと感じてしまう要因としては、イベントの詳細がなかなか示されないので認知ができない。取組の実施メンバーが固定化しており、後から来た人が入りづらい雰囲気がある。

○広域でつながりづくりができていない例としては、地区間で協力して実施している町民運動会、防災訓練等の意見があった。

【B班】（発表者：武井委員）

○地域の一体感については、お祭り等のイベントを通じて醸成できている。イベント以外での一体感のある取組は難しいのではないかと。

○一体感がないと感じてしまう要因としては、緑区としての大きなイベントがないことが影響しているとの意見があった。

○広域のつながりづくりとしては、吉野宿ふじやお雛様展では、博物館と協力しておひな様スタンプラリーを開催している。津久井青年会議所を中心に行っている津久井湖湖上祭は、旧4町のイベントとして開催している。

○提案として、現在各地域で行っているお祭りのスタンプラリーを通年で実施するのはどうか。また、緑区全体でひとつのイベントを作ってはどうか。地域での各事業をつなげることで一体感をつくるのが重要であるという意見があった。

【C班】（発表者：河津委員）

○地域で一体感があると感じる取組として、藤野地区の地域通貨や地域ボランティア、アーティスト主催のイベント、各地のお祭り等が挙げられた。しかし、これらの取組も今後存続が厳しくなるのではないかと意見もあった。

○一体感がないと感じてしまう理由として、新しいイベントより地域の伝統的なイベントに一体感を感じる。地域外からの来訪者が増えることで、広域の一体

感が出てくるのではないか。相模原市としてのアイデンティティよりも緑区としてのアイデンティティのほうが少ないように感じる。魅力に対する一体感の捉え方に個人差があり、一体感の評価は難しいという意見があった。

○広域でつながりづくりができてきている事例として、郷土芸能の祭りの開催、スポーツの練習会、青根青野原の学校統合が結果として地域間のつながりを生んでいる。

○また、今後の取組として、サッカーチームの地区間交流などの機会を設けると子どもたちの交流を図れるのではないか、青根の合唱館の利用促進により音楽を通してさまざまな世代の交流を図れるのではないか等の意見があった。

◎今回のグループワークで共有した内容を踏まえて、事業検討をしていきたい。今回出てきた意見から、合意形成のしやすい取組については一体感が出やすい傾向にある。規模が大きいと一体感を感じにくくなるが、合意形成をしっかりと取ることが一体感を生み出す一つのポイントではないかと考えられる。

6 その他

次回会議は、令和5年7月27日（木）の開催を予定。

7 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	森 誠壽	橋本地区まちづくり会議 副代表	出席
	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議 代表	出席
	小島 盛生	城山地区まちづくり会議 代表	出席
	熊谷 弘	津久井地区まちづくり会議 代表	出席
	河津 暁	相模湖地区まちづくり会議 代表	出席
	○宮野善三郎	藤野地区まちづくり会議 代表	出席
関係団体	松井 光臣	相模原市地区社会福祉協議会緑区連絡会 会長	出席
	立川 直子	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事 (津久井地区民生委員児童委員協議会 会長)	出席
	角田 健	相模原市P T A連絡協議会 副会長	出席
	佐伯 守章	相模原商工会議所 青年部 副会長	欠席
	小野沢健二	津久井地域商工会連絡協議会 会員 (相模湖商工会 事務局長)	出席
	吉野 賢治	公益社団法人相模原市観光協会 代表理事	欠席
	村上 翔一	公益社団法人相模原青年会議所	出席
	武井 俊長	公益社団法人津久井青年会議所 理事長	出席
	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会 事務局長	出席
	星 和美	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ 理事	出席
米山 敦子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら 副代表理事	出席	
学識経験者	◎牧瀬 稔	関東学院大学法学部 准教授	出席
	池田 寛二	法政大学 名誉教授	出席
区民	白水 敦子	公募委員	欠席
	松平菜保子	公募委員	出席
	日高 彩希	公募委員	出席
民間事業者	茂手木祐介	相模湖リゾート株式会社 代表取締役社長	欠席
	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道株式会社橋本駅 駅長	出席
	中原 正貴	神奈川つくい農業協同組合 経済部 営農経済課長	欠席

◎は会長、○は副会長